

ささえあう 新しいしくみづくりをお手伝い

生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーターです



2025年、団塊の世代すべてが75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護の必要性がさらに増加すると見込まれています。

高齢者が自分らしく、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるために、社会保険や介護保険、年金などの制度だけでなく、互助を中心とした「お互いさまのまちづくり」を住民主体で進めることが求められています。

生活支援コーディネーターは、高齢者の生きがいや介護予防につながる社会参加や、日常生活を支える多様なしくみづくりに取り組んでいます。



第5回島本町歌声サロン交流会 開催決定！

歌う楽しさと喜びを分かち合える場づくりに取り組む「島本町歌声サロン交流会実行委員会」は今秋、4年ぶりとなる対面での交流会を開催します。

懐かしのあの歌、このメロディを楽しみに、ぜひご参加ください。

第5回島本町歌声サロン交流会

日時：令和5年10月25日(水) 午後1時30分～3時(予定)
会場：ふれあいセンター ケリヤホール

※参加費など詳細は8～9月以降、町内掲示板やチラシ、社協ホームページなどでご案内します。

みんな
集まれ!!

ボランティアビンゴ &サマーこどもボランティア

夏休みはボランティアにふれるチャンス！
家族やともだちと一緒に楽しもう！



今年の夏もボランティアビンゴにチャレンジしませんか。みんなのまわりにある身近な「やさしさ」を探して、すてきな商品をゲットしましょう。詳しくは、小学校および全戸配布するチラシを見てください。景品の引き換えは7月24日(月)スタートです。

小学生対象の「サマーこどもボランティア」は、今年は7日間(7/25～28、7/31～8/2)で開催します。内容は手話、朗読、点訳、洋裁、落語、大正琴の6つで、1日から参加できます。(案内チラシは小学校で配ります)



サマーこどもボランティアで手話を学ぶ子どもたち(昨年度)

いずれも問い合わせは、社協ボランティアセンター
(電話962-5417、平日午前9時～午後5時30分)まで。

大阪よどがわ市民生協と島本町社協 災害時のボランティア支援に 関する協定を締結

災害時に社協が設置・運営する災害ボランティアセンター(以下、災害VC)が、迅速かつ効果的に支援が実施できるようにするため、大阪よどがわ市民生協と島本町社協は支援協定を締結しました。

大阪よどがわ生協は、災害ボランティア活動への参加協力や組合員への参加協力依頼、災害VC運営スタッフの派遣、災害VCの設置・運営に必要な備品、資機材の提供および貸与、物資の調達への協力などを行います。



協定書を取り交わす大阪よどがわ市民生協・貫理事長(右)と社協・峯森前会長

募集

住民支え合い生活援助事業「たのむ和」

サポーター養成講座

「たのむ和」は、日常生活で援助が必要な高齢者が、孤立することなく住み慣れた地域で、安心して在宅生活を送れるように住民同士が助け合う有償の活動です。この事業に援助者として活動いただけるサポーターを募集します。

日時 8月3日(木) 午後1時30分～3時
場所 ふれあいセンター3階 第1学習室
対象 この事業に対する理解と熱意を持った心身ともに健全な18歳以上の方
定員 20名
申込み 7月31日(月)まで、社協にて電話(962-5417)で受け付け。
平日午前9時～午後5時30分(土・日曜日、祝日を除く)。

養成講座修了後「たのむ和」サポーター会員に加入していただきます。本年度の年会費300円をご用意ください。 ※「たのむ和」の利用会員は随時募集中

サポーター
会員の声

野村 佐千代さん

「島本町にはこんな良い助け合いがあるんだ」と思い、サポーターになりました。普段、家でやっているような片付けや掃除がほとんどなので、誰にでも始められると思います。両親と同じような困りを抱えている方が多く、学ぶこともたくさんあります。利用者の笑顔に元気をいただいています。サポーターの輪が広がればいいですね。



手際よく窓ふきをする野村さんたち



第四地域 ささえ愛の会

令和4年度、第四小学校区での住民座談会を開催し、高齢者の視点で「こんなものがあつたらいいな」「ないものねだりより、あるもの探し」をテーマに意見交換しました。

新たに始まった取り組みをご紹介します。

① 相談できる場づくり

地域サロン&オレンジカフェ「すまいる」開設(4月から、高浜公会堂で月1回)。社協の出張相談会を、秋ごろからの開催を目指して準備中です。



▲地域サロン&オレンジカフェ「すまいる」で開催した福祉用具体験会

② 自治会アンケート実施

地区内のある自治会で全戸アンケートをとりました。移動や買い物の不便、暮らしの不安を軽減するしくみづくりを一緒に考えていきます。

③ ボッチャの推進

心身の健康とつながりづくりのため、いきいきサロンや年長者クラブで取り組み中で、交流大会開催を目指しています。



▶いきいきサロン(大同)で、真剣にボッチャのルールを教わる参加者

令和5年度は第一地域(広瀬)での座談会や勉強会を予定しています。一緒に活動していただける方はぜひご連絡ください。

問い合わせは 社協(電話962-5417) 生活支援コーディネーター(大島)まで